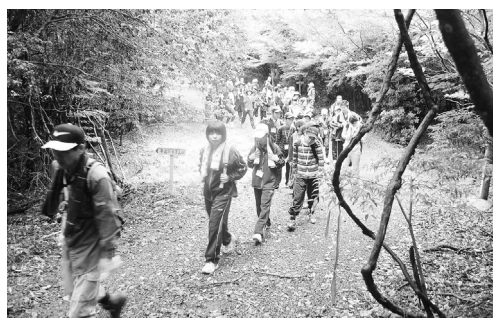


## ようこそ！さつま町へ 中種子町&さつま町 青少年交流事業

平成18年7月に結ばれた、友好交流協定に基づき本年度もさつま町青少年中種子交流事業が実施されました。昨年は本町から中種子町への訪問活動でしたが、今年は、8月6日から8日までの3日間、中種子町の青少年が、本町を訪問し、様々な活動を行いました。



紫尾山の山頂を目指して！

今回は、中種子町から小・中学生20名が、本町からは、小・中学生26名が参加し、グラウンドゴルフや、紫尾山登山、ガラス工芸、そば打ちなど、本町の特徴ある様々な体験・交流活動を行いながら、お互いの交流を深めました。



参加者全員でハイ！ポーズ

この事業の参加者は、団体行動のあり方や、リーダーとしての自覚など、この交流活動を通して学ぶとともに、参加者同士の出会いを今後の財産とし、これからも両町の交流の架け橋となっていくものと期待されます。



川遊びもたくさんしました！

## 北薩広域公園 100万人突破

7月26日、北薩広域公園において、入園者100万人突破記念セレモニーが行われました。平成14年4月に開園以来8年目での達成となりました。

100万人目となったのは、鹿児島市の前田さんご家族で、記念品が贈られました。



入園者100万人目の前田さんご家族

当日は、あいにくの雨模様でしたが、ミニSL乗車や抽選会など盛りだくさんのイベントが行われました。なかでも、開園以来の名物イベントとなっている全長100mの「竹製ソーメン流し」では、薩摩中央高校のボランティアや公園ボランティアのみなさんの協力のもと、竹を流れる冷たいソーメンを「待ってました。」とおいしそうに食べていました。

## 町長と語る会

### さつま町女性団体 連絡協議会

7月28日、さつま町女性団体連絡協議会（山本芳子会長ほか参加者8団体27人）と町長と語る会が開催されました。

まず、町政運営の所信や4つの戦略などマニフェストに基づいた町長の考えを述べた後、住民目線での行政サービスのあり方や少子化対策に関することなど貴重な意見が数多く出されました。

時々談笑する和やかな雰囲気での意見交換となり、今後は出された意見を基に将来を見据えたよりよい地域づくりや活動につながるような取組みを進めて参ります。



和やかな雰囲気だった会議の様子

## どれも甘～いよ

### 平成21年産 なし収穫祭

8月4日、21年産なし収穫祭が虎居の児玉菊次さんのなし園で開催され、会員や関係者一同で本年産なしの収穫を祝いました。

この日は、上宮保育園の園児も招待され、甘くておいしいそうなのなしのものと体験を行ない、喜ぶ姿が見られました。

本町なし振興会では、16人の農家で約8ha栽培しており県内では、霧島市に次ぐ2番目の面積があります。販売は、12月中旬まで続き観光農園、直売、宅配のほか町内の直売所で販売されます。



なしの収穫体験を待つ、園児たち

さつま  
ふるさと体験塾



みんなで協力して作った夕食はおいしい!

さつまふるさと体験塾「夏のアドベンチャー」が、7月24日から26日まで2泊3日の日程で、薩摩川内市里町（甕島）を会場に行われました。

町内の各小・中学生43名が参加して、異年齢集団による共同生活を行いました。透きとおる海でウインドサーフィンなどにも挑戦し、各班ごとに作った夕食は驚くような出来栄でした。

この事業の参加者は、この活動を通して、多くの友だちもでき、相手を思いやる気持ちを学び、リーダーとしての自覚を深めたことと思います。今後、地域や学校での活動に活かしてくれるものと期待されます。

鹿高専から  
洪水避難地図を寄贈

国立鹿児島工業高等専門学校（鹿高専）の正田誠・特任教授と本町出身の学生らが、平成18年7月の県北部豪雨により被害を受けた虎居・川原地区の洪水ハザードマップの調査・研究を行っていましたが、このほど完成し、町に展示用として寄贈されました。

この地図は、実際に浸水した深さや住民の避難支援のための防災関連施設などの防災情報を盛り込んでいます。

また、災害時要援護者宅を表示した地図は、防災機関や民生委員などに提供して情報を共有し、要援護者宅無表示の地図は、近日常に虎居・川原地区の対象世帯に配布する予定です。



地図を説明する正田特任教授（左）



暑い中での作業の様子

みんなで、町の道路をきれいに

道の日  
道路二斉清掃

8月7日と10日の両日、宮之城建友会会員の方々と町職員など、約150人が参加し、町道大角海老川線ほか町道及び町管理施設などでの清掃作業を実施しました。

毎年8月10日の「道の日」の前後にこうして、一斉清掃作業が行われますが、今年も、暑い夏の日差しが照りつける中、道路沿いの除草や伐採など汗だくになりながら作業が行われ、町内各所の道路や施設がきれいになりました。

神戸製鋼ラグビー  
スクール開催

7月18日、19日の2日間、日本特殊陶業ラグビーグラウンドにおいて、ジャパングビー・トップリーグに所属する神戸製鋼ラグビー部「神戸製鋼コベルコスティーラーズ」による、第11回目のラグビースクールが行われ、元日本代表の元木由記雄選手ら6名が参加しました。

両日とも天候に恵まれ、日特ラグビー部（協京一部長 部員70人）のほか、鹿児島高校18人、出水高校11人が参加し、トップリーグの選手の指導を受け、熱心に取り組んでいました。

日特ラグビー部は、県社会人大会1部リーグを5連覇中で、昨年、本県で行われた「第34回全九州クラブ・実業団大会」で2年連続準優勝を果たしました。



トップリーグの選手を間近で!

夏だ!合宿だ!  
スポコンだ!



高校ラグビー合宿の様子

今年も中学生・高校生のスポーツなどの合宿が町内各地で行われました。

8月9日・15日にかけて「かぐや姫グラウンド」で高校ラグビーの合宿が行われ、長崎北陽台高校をはじめ、県外の高校7校を含む12校、延べ約1800人が参加しました。

このほか、バレーボール、ソフトボール、バスケットボール、管弦楽など各種の競技、団体が合宿を行いました。

町では、旅館組合、商工会、各競技団体などで構成している「コンベンションタウンさつま推進協議会」で宿泊所の案内、弁当の手配、差し入れなどを行っています。